



# 全学閉鎖を目標 し戦かう同学会

## 国会止めどし断固戦え!

犯罪的な妨害活動 日共

大学の権力支配を意図する大管  
法に対する闘争は、一一一闘争  
を契機により全国的に広が  
るが、政府・文部省は、依然とし  
て高圧姿勢をとりつづけている。彼らは  
今通開国会で大管法を成立させる  
決意をかためて、則ち、十二  
月八日の臨時国会で、炭労の  
七万五千人の首切りをかたづけ、  
練馬区で、予算審議・大管  
法・日職会議をかたづける方針で  
ある。

このように大管法の国会日程が  
目前(一・二)月にせまってきた  
が、我々が断固として追求しなけ  
ればならぬことは、大管法国会  
上掲禁止である。なせなら、大管  
法はインテリゲンチヤのみならず、  
全人氏に対する犯罪的思想弾  
圧であるにもかかわらず、その政  
策の性格から、この問題は労働戦  
線に及びかねないこと、更に、一  
国国会に上掲されたら、大管法成  
立の可能性は極めて濃厚となるか  
らである。

決意されるのではなく、教官か  
ら学生から職員に至るまでおよそ  
大学を構成している一切の人々の  
完全平等な投票によって決議さ  
れるのである。従来の教授会によ  
る自治という考えを真向から否定  
し、あらゆる人が平等に一票を投  
じて自らの態度を直接に表現する  
のである。これこそ、最も民主的  
な、最も徹底的な方針である。  
大管法国会上掲に対する強力な  
打撃として、また、闘争における  
突破口としての意義をもつこの全  
学閉鎖闘争は、既に圧倒的な学友  
によって支持されている。大学は  
今こそ自ら閉鎖を断固として、そ  
の一日を大管法紛争に捧げねば  
ならないのだ。

だが、同学会(全学自治組織)  
が提起したかかる最も強力な打  
撃は、最も民主的な方針に對して  
最も民主的な方針に對して、大管  
法上掲の三つの潮流があった。  
一つは、政府・文部省および警  
察である。警察権の我々の大管  
法紛争闘争に対する切り崩しは、  
日増しに激化している。一一一  
デモに關して、公安条例違反・公  
務執行妨害・暴行傷害罪等に  
よって活動家が立てつけに逮捕  
されている。デモの指揮者のみで  
なく、最前列においたデモ隊によ  
りのみ逮捕されているのだ。一  
一・一デモのみならず、一一一  
デモに關しても更に逮捕が行な  
われるであろう。このように一方  
では、強引な切迫し進行する

ぬき、一人一人の教官のかくどく  
のり出している。  
第三に、ふるえあがったのは、  
そして最も重大な切迫し進行す  
ているのは、日共一民青である。  
彼らの反応は、一種獲得であつ  
た。最初は賛成であつたが、この  
ことが社会問題化するにつれて  
事の重大さに気づいた彼らは、  
せん方向を自ら反転し、我  
々に刃をむけてつきすすんで  
きた。勿論、彼らのシツパヤ、  
右翼日和見主義は決して今では  
まったものではな。彼らは闘争  
が激化すればするほど、状況が  
おそろしくなるたえ、統一闘争  
を名分に一目散に右へ走るのだ。  
全学閉鎖反対、各層独自の闘争  
を。大管法賛成の全学投票八千  
人の署名というのが彼らに我々  
に對した方針である。彼らは、文  
学部等で大管法反対闘争委員  
をつくらせている。これは「闘争  
の内容を見事に去勢したものがあ  
るのだ。学生は二度にわたる  
(一一一)三〇を入れて三度、学  
生スト、教授会や他の学内団体の反  
對運動や声明を出すに、さ  
らに強力な闘争を要求されてい  
る。我々は、教授の層としての動  
きには明確に限界があることをみ  
粉砕の段階に入ることをお願いし

## 炭労の戦いを 全労働者の戦いに

現地報告

去るも地獄、残るも地獄の  
悲惨な状況の中に、炭労は組織の  
全運命をかけて、十二日闘争に突  
入せんとしている。  
臨時国会の閉会と同時に、炭労  
は全山ストを、更に総評は十二  
十四日、十八日のゼネストを打ち  
出した。  
現在日本資本主義の矛盾が、最  
下層といわれる部分より危機的状  
況に提起されている。しかし、あ  
まりにも他部門との意識の断絶は  
激しい。

炭労内部においても、政戦闘争  
への疑問、それは、去るも地獄、  
残るも地獄、の如く、果てきり  
残るも地獄、の如く、守れるか  
れ、企業内解決に裏では走りま  
わっているのだ。日共は、現在学生細  
胞から、教官細胞にいたる全組織  
をあげて、精神的に全学閉鎖反対  
の活動をしている。彼らは、闘争  
の展望については何の語らない。  
ただ、学生をおとし、後退をおし  
えることにはきましている。  
しかし、かかるあへんつな行為  
にかかわらず、大学閉鎖の闘いは  
炭労闘争の残した問題を無視して  
はありえない。一片のまやかし理  
論で片づけてはならない。現実に  
生活する労働者として、具体的に  
現実にあつた過去の闘争のイ  
メージが、いかに今後の戦いの戦  
訓になるかは、真剣な問題として  
受けとらねばならないのである。

この現状を示しているのは、  
今、閉山の前に、希望職を募  
つたこと、若年労働者は全部  
が退職を希望するであろうといわ  
れ、逆に会社側の首切りといわ  
れる。再就職の見通しもなく、  
せつばつた立場に追い込まれ  
てしまつたことを知っているか  
ら、あつても逆オラ等の  
派遣と闘いの態勢固めに全エネ  
ギーを集中しているのだ。  
また、資本主義日本の矛盾が  
赤裸々に露呈して来たといえよ  
う。しかも、民間幹部はこの状況  
にいかに対処するかが、彼等自身  
の政治性をかけた闘いであり、太  
田・若井ラインは、まさにその首  
引けな状況にあるといえる。

山元においても、他労働者の盛  
り上げ、正直にいうと、今の状況  
のままで疑問視される。九州で  
先般の参院選において、北九州で  
の情勢は、共産党・社会党  
の減少傾向に反し、民社票の増加  
が著しかったことである。このこ  
ろは、三党闘争の経過の中から、  
第三組合の進出もあって、逆に右  
さる十二日長崎造船労働組合  
と社研の躍進をもつて終つ  
た。造船労働者は、石川島、横浜  
造船などの大手が相次いで民社  
専政指導部隊として自らを  
表現している。長船社研は大きく  
進出も、独自の地歩を固めた。  
もともと公然たる政治潮流の  
活動の活発さをもち、有名な長  
船労働組においても今次役員・代  
議員選挙は、四潮流の激突によ  
つて最大の規模でたたかわれ  
た。選挙の結果は民社勢力の後

その意味で、勤勞の十一月三十  
日の中央委員会は、公労協のけん  
引車として、その決定の影響は他  
にも大きく与える。電通は三十日  
にも十三日よりのスト権確  
立のため一票投票を行なつたと  
している。  
この全労働者の闘争において下  
部のエネルギーの爆発をもつて  
たえねばならぬ。この戦いは、必  
然的に権力との対決に発展するた  
らう。だがそのことがまさに現局  
面の唯一の打開のめちであること  
を、今訴える必要がある。  
炭労のストを、全労働者のスト  
にせよ、(一一一)二四、小川弘  
中(日共総評議長)  
中で組合員の生活と精神を守る  
闘いをするためにつくつたとい  
うことをハッキリさせたのです」  
(大田総評議長)

## ルソーの来日 と総評の右傾化

今夏の総評大会では、「労働組  
合主義」路線が一層明確化され  
た。その右傾化は、ブルジョアシカ  
ル主義の潮流がみとめ  
られている。一方において、政府独  
占の憲法改定を頂点として、大管  
法に至る一連の反動立法は、あら  
ゆる部門にその網を打つたとして  
いる。労働法の改定もその一端で  
ある。今、炭労の現地の状況は、  
炭労のみで闘いを勝利することは  
できない。まさに全労働者の総評  
が著しくつたことである。このこ  
ろは、三党闘争の経過の中から、  
第三組合の進出もあって、逆に右  
傾化の傾向がみとめられている。  
「大田日本の労働組合は、右の  
組合でも、左の組合でも、政治  
や思想にオレオレすると思つ  
て、右より、したところ、こ  
れは社会主義運動は社会党にや  
らず、そして組合は資本主義の  
敵である。」  
「付) 国際自由労働連は、米の A  
F L C I O、西独総同盟、英  
の T U O の三つを中核とした反  
共産主義、労働協同の国際的な  
労働組織であり、いわば、労働  
官僚組織の国際組織である。こ  
れは右傾化をすすめているものと  
して、連年の労働組合を中核と  
して世界労働者がある。総評は、  
現在中立の立場をとっている。  
な。 A F L C I O とは、米  
の労働組合のほとんどを率下に  
おさめている労働組合連合体で  
彼の支持政党は、ケネディの  
属している民主党である。  
このように、国際自由労働連の幹  
部の来日によって右傾化がおし  
すめられているが、更に総評系幹  
部の渡来によって拍車がかけれ  
る。来年六月までは、なん  
と八十二名の幹部が渡来するこ  
とになっている。

## 長船社研圧勝

戦術的政治指導を貫徹  
研の勝利は全体的右傾化を打ち  
破る戦術を示したものである。  
執行委員選挙結果は、昨  
年に比べ、副委員長 五、六  
二・一五倍に増大し、職場では  
「図」について必要である。

労働戦線のなだれをつつ、右  
傾化の中で社研の躍進を  
考へると全産業、全職場にわ  
たる新左翼活動家集団の結集を  
図っていくことが必要である。  
「社研の圧勝」として注目的  
になっている。この間、共産党  
は、「派閥反対」という無内  
容・反動的スローガンをかけ  
て、ほとんど社研攻撃のみに血  
道をあげたが、無惨な敗北を喫  
した。  
労働戦線のなだれをつつ、右  
傾化の中で社研の躍進を  
考へると全産業、全職場にわ  
たる新左翼活動家集団の結集を  
図っていくことが必要である。